

# 電子CP等の決済システム グランドデザイン (骨子)

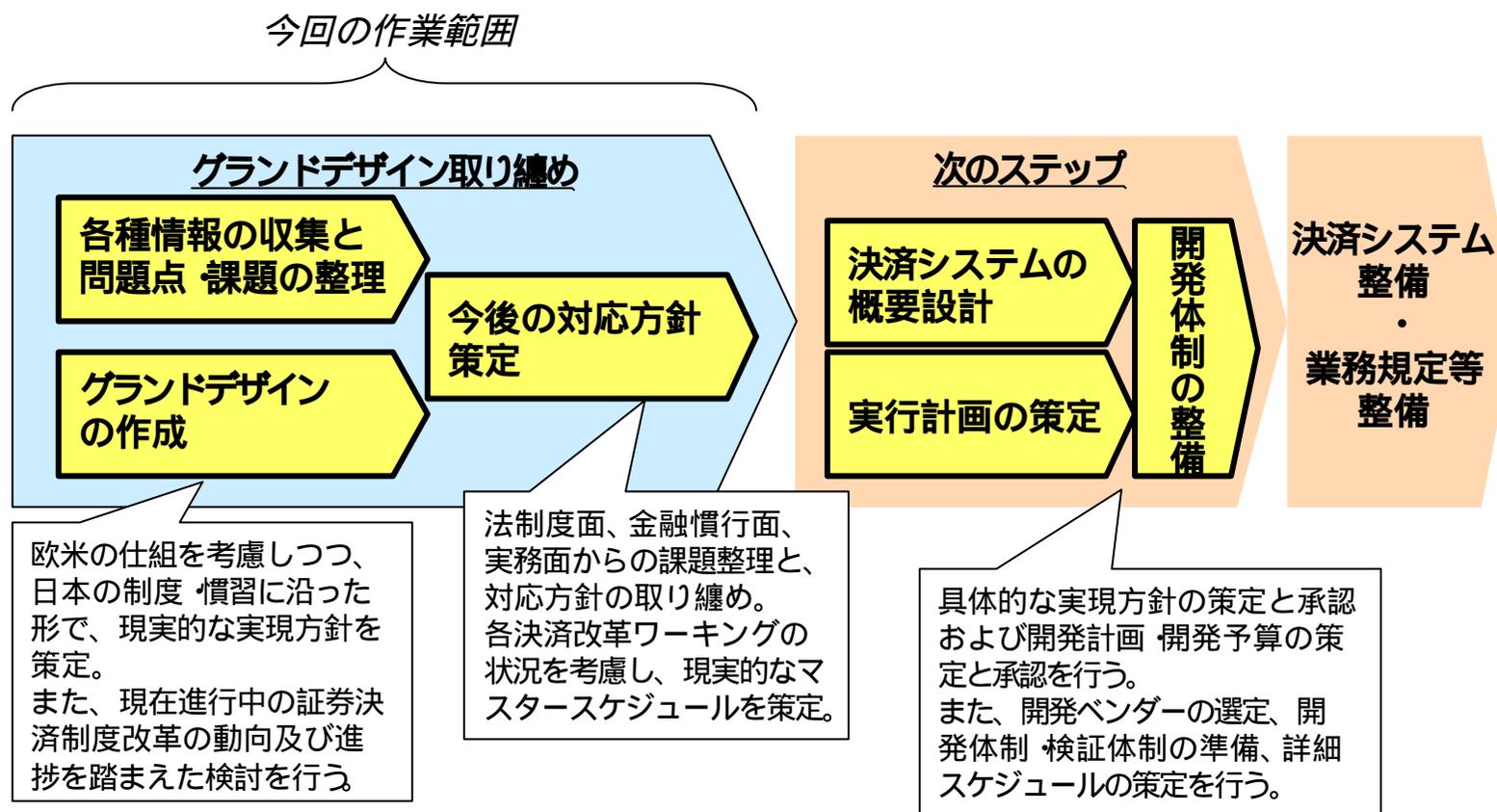
平成13年10月25日

企業の資金調達の円滑化に関する協議会  
(企業財務協議会)



## 2. グランドデザイン取り纏め作業の位置付け

今回のグランドデザイン取り纏め作業は、来年4月の電子CP法施行を受けた電子CP等の決済インフラ早期実現を目的として、決済システム構築のインプットとなる実務スキーム取り纏めと実現迄のマスタースケジュールを策定しました。



(本編「1.本報告書の検討範囲」参照)

### 3. 新たな決済システムに求められる要件

あるべき決済システム像 (グランドデザイン) は、発行体を中心とする市場参加者の要件に基づき策定しました。また、あるべき決済システム像実現には現在の決済インフラの更改が必要となり時間を要することから、短期的な対応方針も合わせて策定しています。

#### 市場参加者からの要件

1. 発行・流通・元金支払にかかる事務負担の軽減
2. 決済リスクの低減
3. キャッシュの効率的調達・運用 (即日資金化可能)
4. 低コストかつ安全な決済インフラの早期実現
5. 商品範囲の拡張も視野に入れた決済システムの実現

(本編「2. グランドデザイン  
検討の前提」参照)

#### あるべき決済 システム像

左記の要件をすべて満たし、かつ今後の取引件数増大にも対応できるような新たなスキーム (=グランドデザイン)。

今後 2～3年を目処に整備

(本編「3. グランドデザイン  
～目指すべき方向～」参照)

#### 短期対応

グランドデザインに基づき、電子CP (およびその延長線上にある電子社債) を決済するために必要となる最小限の機能を短期間で実現するためのスキーム。

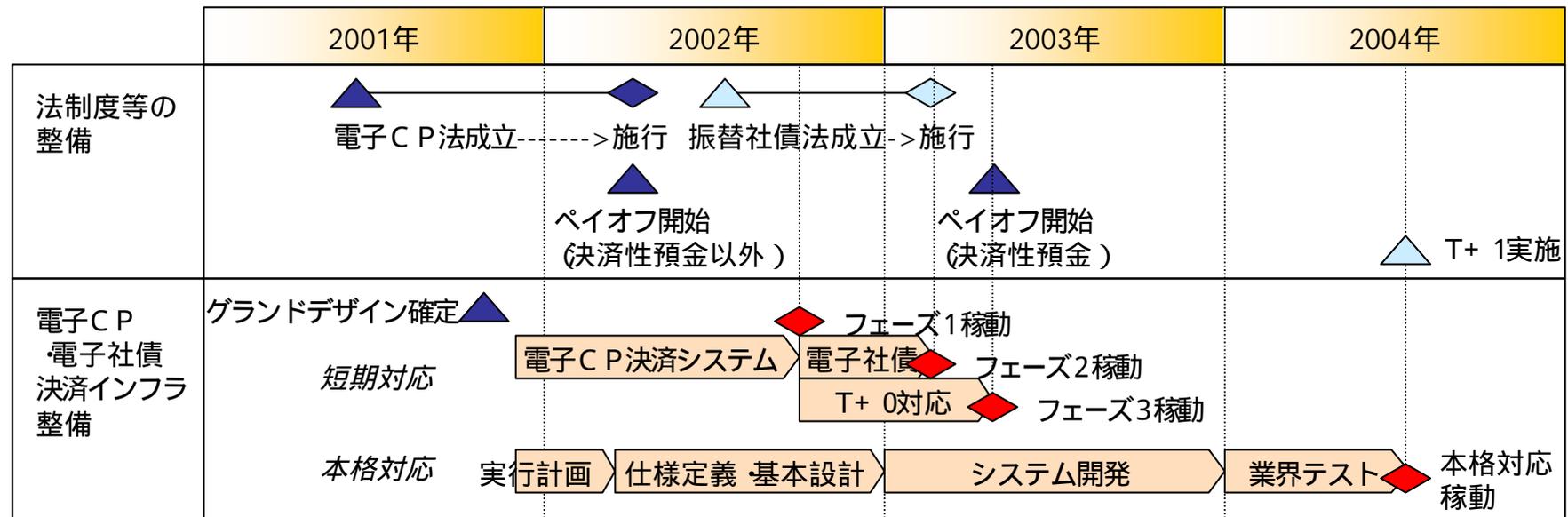
今後 1年以内を目処に整備

(本編「4. 短期対応の方針」  
参照)

## 4. 電子CP等の決済システム実現のマスタースケジュール

決済システム整備は、早期実現を目指す「短期対応」とあるべき決済システム像を実現するための「本格対応」の2段階で進められることを提言します。

短期対応	フェーズ1	電子CPを早期に発行・流通・償還するための決済システム整備
	フェーズ2	振替社債法の施行に合わせ、口座管理の重層化および利払へ対応
	フェーズ3	決済性預金のペイオフに合わせ、電子CPのT+0決済に対応
本格対応	グランドデザインに沿った電子CP・電子社債の決済システム整備	



(本編「5.実現に向けたマスタープラン」参照)

▲ 実施済みもしくは予定が確定しているイベント △ 予定が確定していないイベント

## 5. 当面のマイルストーン

市場インフラ整備に向けた第一歩として、**2001年11月末迄**に関係者のコンセンサスを形成し、**12月初から短期対応」が開始**できるよう、関係各機関のご理解・ご協力をお願い致します。

